



東稲ニュース

第 133 号

早稲田大学校友会東久留米稲門会

2024 年 1 月 10 日発行

発行責任者 山口 謙二

編集責任者 片平 るみ

E-mail: oyamasahiro1130@gmail.com

<http://higashikurume-toumonkai.com/>

事務局 大矢 真弘 ☎042-475-8532

会長年頭挨拶

東久留米稲門会会長 山口 謙二

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては良い新春をお迎えになられたことと拝察致します。昨年は記録的猛暑に加え季節外れの台風襲来もあって誠に厳しい気象状況が続きました。健康面でもコロナ禍は収束したとは言えない上にインフルエンザの流行も重なって油断出来ない日々でした。

さて本年は甲辰（きのえたえつ）の年に当たり、「甲」は生命や物事の始まり、成長を意味し、「辰」は自然万物が振動し、草木が成長して活力が旺盛になる状態を示すのだそうです。この干支の意味にあやかって様々な局面が好転することを期待したいと思います。

当会は1月の新年会、4月の総会、10月の懇親会と例年どおりの行事を予定していますので、皆様の多数のご参加をお願い致します。加えて会の創立30周年を記念し、6月29日にコンサートを開くべく準備を進めています。学生音楽界屈指の実力を有する早稲田大学オーケストラと合唱団を招いての催しです。併せて同日夕刻から懇親会を行います。諸先輩が営々と築き上げて来られた当会の歴史の節目の年ですので、是非とも成功させたいと実行委員会のメンバーは準備に励んでいますのでご期待ください。

会員数は約130名で推移していますが、65歳定年制定着により新会員獲得が難しい状況が続いています。これは近隣稲門会でも同様の悩みを抱えていて、会によっては個別訪問で入会勧誘を行うなどの努力をされています。私は当会の活力の源泉は各部会の活発な活動であろうと考えております。各部会の活動状況を会報とホームページを通じてアピールしてゆくことが基本的かつ有効な手段であろうと信じています。新規会員の入会もこのPRがきっかけの場合が多いと思われます。各部会におかれましては引き続き活発な活動を展開して頂けるようお願い申し上げます。

創立30周年を新たなステップとして当会の更なる発展を努力して参りたいと存じますので、今後共皆様の御支援御鞭撻のほど何卒宜しく願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。末筆ながら皆様の御多幸と御健勝を祈念致しております。



◎会の告知板

【部会等の予定】

・1月13日（土）	ニューイヤーコンサート	15:00	武蔵野音大 ベートーベンホール
・1月20日（土）	新年会	14:00	成美教育文化会館
・2月04日（日）	第5回役員会	16:00	生涯学習センター
・2月22日（木）	映画鑑賞会「シェルブールの雨傘」	14:00	成美教育文化会館
・4月07日（日）	臨時役員会	16:00	生涯学習センター
・4月21日（日）	第30回定時総会	16:00	生涯学習センター

- ・6月27日(木) 映画鑑賞会 14:00 成美教育文化会館
- ・6月29日(土) 30周年記念コンサート

<定例活動一覧>

部 会	1 月				2 月			
	日	曜	時間	場所	日	曜	時間	場所
女性サークル	11	木	10:00-12:00	中央町地区センター	15	木	10:00-12:00	中央町地区センター
書 道	14	日	12:00-15:00	スペース 105	11	日	12:40-15:40	生涯学習センター
俳 句	21	日	10:00	生涯学習センター	18	日	10:00	生涯学習センター
囲 碁	28	日	13:00	成美教育文化会館	25	日	13:00	成美教育文化会館
太極拳	13	土	10:00-12:00	成美教育文化会館	3	土	10:00-12:00	成美教育文化会館
	20	土	10:00-12:00	成美教育文化会館	10	土	10:00-12:00	成美教育文化会館
	27	土	10:00-12:00	成美教育文化会館	24	土	10:00-12:00	成美教育文化会館
ソフトボール	活 動 休 止 期 間				活 動 休 止 期 間 3月下旬より再開			
バドミントン	毎週金		10:50~13:00	東久留米スポーツセンター	毎週金		10:50~13:00	東久留米スポーツセンター
ボッチャ	15	月	11:20-13:30	東久留米スポーツセンター	10	土	13:00-15:30	東久留米スポーツセンター
	22	月	11:20-13:30	東久留米スポーツセンター	19	月	11:20-13:30	東久留米スポーツセンター
					26	月	11:20-13:30	東久留米スポーツセンター

※コントラクトブリッジ 1月19日(金) 2月16日(金) 15:50-18:50 生涯学習センター

【大学・校友会関係】

- ・03月16日(土) 春季幹事長・事務局長会議 早稲田大学 大矢
- ・03月16日(土) 春季代議員会 早稲田大学 小山田 有賀

会の報告

◎2023 年度商議員フォーラム報告

早稲田大学の2023年商議員フォーラムが12月2日(土)14時より大隈講堂において開催された。亀井淳商議員会長から、コロナ禍のために実施したWEB上での会議が海外や地方の皆さんとの交流にもつながるようになり、コロナ禍のため困窮している学生への支援金が10億円も集まった。2016年に商議員会長となり8年の任期が来年で終了となるが、この間の皆さまのご協力に感謝申し上げる等の挨拶の後、田中愛治総長より9年後の2032年に150周年になる。大学としては2050年に早稲田がどうなっているかを考えている。「研究の早稲田、教育の早稲田、貢献の早稲田」の3本柱で世界人類に貢献する人材を育てていきたいとの力強い挨拶があった。

引き続き、学事報告として松本直樹常任理事より「不断の入試改革 ～多様で優秀な学生の獲得に向けて～」の講演、斉藤美穂副総長より、教育学部が主に利用する「新9号館建設募金」の協力等のお願ひがあり、16時10分に閉会した。大矢 真弘 記

◎早稲田大学校友会「東京都23区支部・東京三多摩支部合同会長懇話会」の報告

この会は東京23区支部と三多摩26支部の会長が交流する場で、総勢62名出席。私は今回初参加のため1分間スピーチをしました。

式次第は来賓挨拶、支部活動報告、と型どおりに進んで、懇親会・校歌斉唱・写真撮影で締められました。文京稲門会の会員で東京ドームグループに勤務されている方のご尽力で、東京ドームホテル直営

の「後楽園飯店」が会場でした。コロナ禍でアルコール抜きが続いていたそうですが、今回は解禁で美味しい中華料理と相俟って和やかな懇親会でした。私も近隣の会の方々と親しく楽しく交流出来ました。

山口 謙二 記

◎第4回役員会報告

【大学・校友会関係】

- | | | | |
|--|-----------|------------------|--------|
| (1) 早大稲門祭 | 10/22 (日) | 早稲田大学 | 片平・平山 |
| (2) 小平稲門会 | 10/29 (日) | ルネ小平 | 山口・片平 |
| (3) 23区支部・三多摩支部合同会長懇話会 | 11/5 (日) | 後楽園飯店 | 山口 |
| (4) 東村山稲門会 | 11/18 (土) | サンパルネ コンベンションホール | 山口・大矢 |
| (5) 商議員フォーラム | 12/2 (土) | 早稲田大学 | 山口・大矢 |
| (6) 練馬稲門会ニューイヤークンサート | 1/13 (土) | 武蔵野音楽大学 | |
| (7) 三多摩支部 東ブロック会議 | 1/14 (日) | 武蔵小金井「福源居」 | 山口・大矢 |
| *初めて開催される会議で参加費用は予算化していないが、会より支出することとした。 | | | |
| (8) 春季幹事長・事務局長会 | 3/16 (土) | 早稲田大学 | 大矢 |
| (9) 春季代議員会 | 3/16 (土) | 早稲田大学 | 小山田・有賀 |

*2月に三多摩支部幹事長・事務局長会議もあり。

2. 秋の懇親会の振り返り

- (1) 収支、内容とも問題ないとのこと。

3. 会長・部会長・役員忘年会

- (1) 日 時 : 12月3日(日) 18:00～
(2) 場 所 : 「庄や 東久留米店」
(3) 会 費 : 4,500円
(4) 参加予定 : 22名

4. 新年会

- (1) 日 時 : 2024年1月20日(土) 14:00～ <13:00～16:30 予約>
(2) 場 所 : 成美教育会館3階 大研修室
(3) 会 費 : 3,500円

*余興 ビンゴの景品として図書券用意(一位5000円、二位4000円、三位3000円)

5. 2024年度 第30回 定時総会

- (1) 日 時 : 2024年4月21日(日)
(2) 場 所 : 成美教育会館1階ギャラリー
(3) 講演者の件 : 「発声と免疫力」 (社)日本発声医学協会 代表理事 野口千代子
(4) その他 : 50代～70代の校友にも案内する。

6. 東稲会計の状況等

会計の清水氏が所用で欠席のため、事務局より、今年度は9月末現況の会計原簿を(10/1 役員会で)報告済だが、平山会計監事、吉川会計監事の監査を受け、「適正である」との承認をいただいているとの報告があった。

7. 映画鑑賞会の件

11月30日(木)「心の旅路」 成美教育会館 グリーンホール (ほぼ満席の入場者であった)

<次回以降の予定>

2024年2月22日(木)「シェルブールの雨傘」・6月27日(木)・9月26日(木)

8. 広報関係

- (1) ホームページ
(2) 東稲ニューズー記事の募集、印刷日時等

原稿締切：12月22日（金）

印刷日：1月10日（水） 15時～ 綴込み等作業 16時～

＊編集委員募集している。

9. その他

（1）今後の役員会

2024年2/4（日）・4/7（日）・6/2（日）・8/4（日）・10/6（日）・12/1（日）

10. サークル・部会関係

来年の役員会で「コントラクトブリッジ」の会の部会承認の検討をする予定。

11. 30周年記念事業の件

・コンサートの題名

『早稲田大学 東久留米稲門会創立30周年記念「都の西北」コンサート』

・実施日程 2024年6月29日（土）

コンサート：14:00～16:00

懇親会：17:00～19:00（予定）

・会場 コンサート 生涯学習センター まろにえホール

懇親会 成美教育会館 グリーンホール

・事業内容等

< 記念コンサート >

早稲田大学合唱団（40名）と早稲田大学交響楽団（40～50名）が出演予定

< 演奏曲目名 >

早稲田大学合唱団

「紺碧の空」（早稲田大学応援歌） ・ 「鉄腕アトム」主題歌 ・ 「遙かな友に」

「時代」（中島みゆき） など

早稲田大学交響楽団

「ラデツキ行進曲」（作曲：ヨハン・シュトラウス1世） ・ 「栄冠は君に輝く」

「川の流れのように」（美空ひばり） ・ 「ムーンリバー」（作曲：ヘンリー・マンシーニ）

交響曲第5番「運命」第1楽章（作曲：ベートーベン） など

フィナーレ

早稲田大学校歌「都の西北」 など

＊次回役員会について

2024年2月4日（日）16時より、生涯学習センターの予定

大矢 真弘 記

部会だより

【活動報告】

<書道部会>

稲門会書道部作品展

2年毎に開催している作品展が今年12回目を迎えた。書道歴、人数、作品数などから会場を「スペース105」とし、諸準備をベテラン部員が担い11月16日（木）飾り付けを行い11月17日（金）～19日（日）3日間開催した。

初出品者4人を含む部員は春先から思い思いの課題を決め書き込みを開始、10月の締め切りに間に合わせた。満足したわけではないだろうがそれぞれ精一杯の作品である。この間、自分では気づいて無いかも知れないが表現の技量が向上していることが実感出来た。これも作品展の効用であろう。

ご多忙の中ご来場下さった方々に心より御礼申し上げます。

部会長 平山 正経（十方）

今回は、少し慣れてきたのと、前回より作品数が少なくて助かりました。また、経済的にも、手ごろな価格で大変良かったと思います。期間中、用事で帰省していて皆様方にご迷惑を掛けた事が心のこりです。お詫び申し上げます。

安次嶺 暁

今年の3月に書道部に入会し、平山先生の指導の元、数ヶ月間練習してきました。キャリアのある先輩方、同時期に入会した方々の熱心さに比べて、いささか練習不足だったと認識する機会になったのが、先日開催された書道展でした。先生始め会員の皆様の素晴らしい作品を見て、心を入れ替えました。2年後の書道展に向けて、精進してまいります。この歳になり、目標を持って打ち込める事に出会え、そして素敵な仲間に出会えた事に感謝しています。

大塚 和恵

第8回の書道展より参加させていただき、書道部の活動も9年となりました。今回は平山先生にお手本を書いていただいた20文字の「劉禹錫の詩」、先日お亡くなりになった栄田卓弘先生が以前お書きになっていた禅の言葉「本来無一物」、そして応援部の先輩が唱えていた「疾風に勁草を知る」を出展しました。自己評価75点というところですが、言葉の意味をかみしめながら書くことができたかなあと思っています。

大矢 真弘

今回の作品展の出品で7回目、書道部入部以来足掛け14年早いものである。最初は余り乗り気でなく続ける自信は無かった書の世界、先生初め諸先輩の熱意に引かれ月日が過ぎた。初めての作品展で書いた「忠恕」を今回は「吾道一以之貫哉 忠恕」と書いてみた。書として進歩したのかどうかは判らないが、孔子の教え忠恕「私の人生は真心(忠)と思いやり(恕)と、それに尽きる」の大切さは今も昔も変わらず心に響く。

小野 泰右

私の趣味の全ては屋外又は自宅外に関するものなので、自宅で出来る趣味として習字をやりたいと以前から思っていました。私は東久留米三田会の会員ですが、縁が有って今年の1月から平山十方先生に書道を指導して頂くことになりました。未だ習い始めて10ヶ月も経たないのに作品展に出展するようにと指示されて大変困惑しましたが、次回の作品展（2年後）に向けて進歩の度合いを見るためと恥を忍んで出展しました。

私は書道を習う積りで、入部したこの書道部の会員が大変魅力的な方々なので、一挙に10名の素晴らしい友人を獲得できたことは想定外の喜びです。

佐武 昇

今年書道部に入会させていただき、半年が過ぎました。仲間の人達が上手でびっくりしました。久しぶりに皆で共に練習をする時間を持てる事が嬉しく思っています。秋になり、あつと言う間に作品展になり、とりあえず終わりをむかえホッとしました。今現在は、書くことが苦にならない様になりたいと思ひ、これからも努力をしていきたいと思ひます。

高田 明子

作品展への出展は、書道部へ入会をして間もないこともあって自信がありませんでしたが、平山先生の熱心な指導と諸先輩の進めもあって、未熟ではありますが現時点で自分なりに努めた作品「永」と「菱花清澗月」を出展させていただきました。

東久留米駅からの富士山は美しいですね。まず、作品展で感じましたことは、富士山であれば、平山先生が頂上、諸先輩が3合目から5合目、他の部員も登山口にいますが、私は富士山駅の改札口を出たところです。頂上は到底無理ですが原生林に迷わないよう歩んで行きたいと思ひます。また併せて今は、お習字の段階で、「書の世界は」広く奥行きが深いものと感じましたが、厳しい道ですが少しずつ理解

できればと思っています。

高橋 哲男

いつも大胆な字を書いて楽しんでいます。なかなか先生のような字は書けません。今年も書道展に2作品を出展しました。オリンピックのように、参加することに意義ありと思っています。

1本は、梅が一輪、二輪と咲いていく様子を表した作品です。新潟県生まれなので、春を待ち焦がれる気持ちが強いのです！

もう1本は「水の如く生きたい」という気持ちを表現しました。水のように、サラリと生きられたらいいなあと。

前川 初子

平山十方先生の指導の下での初めての作品展。メンバーは、先生以外で9名。そのうち4名が本年入会の方々です。大変フレッシュな今回です。通常例会での十方先生の厳しく、丁寧な指導をいただき、腕を上げてきたこの頃です。また大量のお手本をいただき生徒一同、書く量は自ずから大増量。「多書、多見、多聞」の一步目を四苦八苦しながら何とかついて行ってるのが現状。また例会終了後の飲み物を交えての実技指導、諸事の教えを、皆盛り上がりながら楽しく勉強しています。今回の出品作品も、力強く、自由奔放に書き上げたものが多く、頼もしい限りです。

新勢力の力を借りながら気合いを入れなおして、今後の精進につなげたいと思っています。

渡辺 真司



<女性サークル>

12月にしては暖かく青空が広がった12月7日(木)、女性サークルの企画により参加者8名で中華料

理店「同心居（とんしんじゅ）」を訪れました。清瀬駅北口から徒歩7、8分にあるこのお店は人気のお店で、次々に来客があり、帰る時も店を出ると入店を待つ人が行列を作っていました。

案内された部屋には細長い大きなテーブルがあり、両側に4名ずつ座りました。コース料理を頼んでいたのので、4人前の料理が入ったお皿が二つテーブルに置かれて、両側から2名ずつ4人で一つのお皿から取り分けていただきました。

隣りに座った元中学校の先生からお聞きしたのですが、このお店のオーナーは教え子で、コロナの時、お店は大変だったそうです。テイクアウトを始めてコロナの期間を乗り切ったそうで、客足も戻りまた人気のお店になって本当に良かったと思いました。

お料理は、前菜、エビのチリソース、海鮮春巻き、レンコンと豚肉の黒酢炒め、炒飯、スープ、杏仁豆腐と出てきて、どれも美味しくいただきました。最後の炒飯は食べきれず残ってしまいましたが、このお店では残った分は持ち帰る事が出来るので、4人でお店から貰った容器に少しずつ詰めて持ち帰りました。これはフードロスを減らす良い方法だと思います。

歓談しながらの美味しい食事で、楽しい時間を過ごした昼食会でした。

吉川 明美 記



<ゴルフ部会> 秋の東久留米三田会／稲門会懇親コンペ

ゴルフ場の木々も色づき本格的なゴルフシーズンとなった11月9日（木）、飯能グリーンカントリークラブにて開催しました。前日まで夏のような暑さで翌日には雨が降るというすき間で良い天気の日でした。幹事ではなく参加者のふだんの心がけの良さでしょうか。参加者は稲門会7人、三田会5人のあわせて12人というちょっと寂しいコンペでした。結果は真剣にゴルフ練習に取り組んでいる大矢さんが初優勝でした。練習は裏切らないことを証明してくれました。今後、一層の活躍が期待されます。2位は三田会の種田さん、3位は平山さんでした。終了後は東久留米に戻り「庄や東久留米店」にて懇

親会を開催しました。コンペには参加できなかった伊東さん、上原さん、山口さんも参加して下さいました。三田会川鍋さんの仕切りで各人のゴルフへの思いを語ったりとゴルフ以上の盛り上がりで来年以降は毎回懇親会をやろうとの声もありました。

金子 孝司 記



＜俳句部会＞

第 279 回 11 月 20 日(月)

兼題： 枯野 落葉 他当季雑詠二句

＜高点句＞

紅色の落ち葉や京の石畳 川島知子
ビル街の行くあても無き落葉かな 片平るみ

＜自選一句＞

大枯野つらぬき走る新幹線 三浦洋子
関ヶ原寂寥の大枯野 馬場清彦
独り居の足を知る日々温め酒 杉本達夫
舞い上がるもの何もなき枯野かな 大久保泰司
今朝もまた訃報の葉書冬時雨 比護喜一郎
紅葉かつ散る旅立ちし同期生 橘優治
いささかの勇気もて起く冬の朝 横田慧子

第 280 回 12 月 19 日(火)

兼題： 冬帽子 牡蠣 他当季雑詠二句

＜高点句＞

大根を抜かば大地の息吹あり 比護喜一郎
次々と改札通る聖菓かな 片平るみ

＜自選一句＞

空鉄みせわし床屋の師走かな 馬場清彦
安芸の宵酢牡蠣焼き牡蠣牡蠣ご飯 橘優治
膝いだき待つ子どもあり冬帽子 横田慧子
亡き妻のお洒落でありし冬帽子 大久保泰司
お絵描きはサンタの顔や園師走 川島知子
安らぎに慣れたる暮し冬星座 杉本達夫
剥きたての牡蠣啜り見る松島湾 三浦洋子

片平るみ記



＜カラオケ部会＞

「楽しかった!! 皆さん上手!!」、12月19日・駅北口の「オンチッチ」にて、オープニングの馬場さんの「ひばりの佐渡情話」で好調にスタートを切り、その後に続く歌手軍団の張りのある熱気溢れる歌声でこの日の寒さも吹っ飛ばすほど盛り上がり、気の置けない仲間と楽しい時間を過ごしました。

今回が部会長として初めての開催で、何かと段取りの悪い中、何とかエンディングの早稲田大学校歌、小山田さんのエールまで辿り着くこ

とができ、参加の皆様のやさしさに、ただただ「感謝」のひと言です、次回以降はもう少し要領のいい開催を目指します。

今回参加の皆様の、平成25年12月からの15回分の歌唱曲を一覧表にまとめ配付させて頂きました、カラオケ部会の歴史と、新しい曲に挑戦する方・自分の曲を大事に歌う方、それぞれの方のカラオケへの姿勢を垣間見たような気がしました、これからもご自身の歌い方で大きな声で、元気に楽しく歌い続けましょう。

これからは他の部会とのコラボ等の企画を考え、新しい歌仲間とも触れ合いを行っていきますので、「カラオケを楽しむ会」への新たなご参加をお待ちしています。

参加者・歌唱曲（敬称略・歌唱順）

オープニング 馬場清彦 ひばりの佐渡情話

- | | |
|-------|-------------------------------|
| 高柳康夫 | ①北酒場 ②だれかが風の中で ③サライ |
| 帆角信美 | ①襟裳岬 ②舟歌 ③長崎は今日も雨だった |
| 渡辺真司 | ①六甲おろし ②石狩挽歌 ③東京ブギウギ |
| 井坂宏 | ①あの丘越えて ②いい日旅立ち ③枯葉 |
| 高橋哲男 | ①陽はまた昇る ②三都物語 ③Far away |
| 青木規宣 | ①異邦人 ②夢芝居 ③五番街のマリーへ |
| 小山田朋樹 | ①駅 ②あなたに逢いたくて ③SWEET MEMORIES |
| 後藤秀作 | ①涙そうそう ②街の灯り ③PRIDE |
| 山口謙二 | ①そして神戸 ②こいさんのラブコール③よこはま物語 |
| 東海俊孝 | ①時代おくれの酒場 ②踊子 ③みちのくひとり旅 |
| 橘優治 | ①大阪しぐれ ②風雪ながれ旅 ③ひとり寝の子守唄 |
| 安次嶺暁 | ①泪の乾杯 ②逢いたかったぜ ③花街の母 |
| 比護喜一郎 | ①昂 ②千曲川 ③アカシヤの雨がやむとき |
| 馬場清彦 | ①他人船 ②女の港 ③望郷酒場 |

エンディング 全員 早稲田大学校歌

エール 小山田朋樹

後藤 秀作 記

＜ソフトボール部会＞

「憧れの w のユニフォーム」

できました。ソフトボール部会待望のユニフォーム。少年時代より憧れた WASEDA のユニフォーム。みな笑顔、えがお またエガオ。子供のように。私の少年時代、男子が外で遊ぶのは、野球、ソフトボールのみ。小学校の授業終了後カバンを放り出して集合場所のグラウンドへ。そんな毎日でした。プロ野球の川上哲治に憧れ、新入団の長嶋茂雄の活躍に一喜一憂。

10 歳ころの真夏、高校野球東京都の予選会、早稲田実業の王貞治投手が早稲田の安部球場で試合する。フェンスの壊れたところから侵入し応援。王さんの快速球は、高校生にはなかなか打てない。更に打撃も金属音を残して右中間をライナーで突き破るスピードは凄まじい。一塁側の半分壊れた木造スタンドで早稲田実業の応援だ。王さんの胸の早稲田のマークは紺色。現在とは違って。そんなに強い早実も選手権ではなかなか勝てず、やっと春の選抜では、優勝投手として輝くことができました。小学生時代のわが町の野球帽はすべて臙脂の W マーク、ジャイアンツ帽など誰一人としてかぶるものはいなかった。

部会の皆も一度くらいワセダのユニフォーム着てみたかったのでは？ 一文字の臙脂の W だけど、まあ、いっか・・・・・・ですね。爺さんたち、嬉しそうに心うきうき、ハネハネ、でも足下少しヨロヨロ。

着用の感想は一様に「なんだか、上手くなったみたい。」でした。そうです。1 年半ですごく上達したのです。この歳でも上達したのを強く実感することができました。来るシーズンへ向けて意気込み豊かなメンバーです。大谷に負けるものか・・・・・・・・・・

渡辺 真司 記



ソフトボール部会員の集合写真です。ほぼ全員が揃えば試合ができる人数になりました。



お世話になっているコーチ 左から関谷さん、東郷さん、古川さん

＜ウォーキング&山歩き部会＞

ウォーキング & 山歩き部会活動報告 菊展覧会巡り：明治神宮・新宿御苑（第94回 11月14日）

暑い夏が居座り、漸く秋が来たと思った途端、一足飛びに肌寒い冬になったという可笑しい天候が続いた中、一瞬だけ訪れた快晴の気持ち良い青空の下、総勢13人（男9、女4）で、我々の記憶とは異なる、駅建物の景色が一転していた原宿駅に降り立った。

明治神宮への参道では、高く茂った樹々から木漏れ日が降る厳粛な雰囲気にも包まれる中を、平日にも拘わらず訪れた大勢の人、それも半分は外国人に混じって歩いた。往時荒れ地のような景観であった野原を、今日の広大、荘厳な鎮守の森に変える活動を始めた百年前の人々の努力に賛辞を惜しまずにはいられない。本殿に近い参道に、各地の菊愛好家から寄せられた菊花壇が設えてあり、歩みを止めてそれぞれに見入った。その中でも人目を引いたのは豪華な懸崖（けんがい）作りであり、両手に余る大きな花の大菊の一団も見事であった。菊花壇を楽しんだ後、本殿に参拝し、北参道を出て、新宿御苑に向かった。

菊と言えば4～5世紀の中国の陶淵明の漢詩が有名であり、勤めを辞めて故郷に帰り、自然と一体になって暮らす心境を、「菊を采る東籬の下、悠然として南山を見る（漢詩飲酒の一節）」と詠っているが、自然の中に鑑賞する菊花は、菊花壇を観るものとは全く異なっていたであろう。日本に菊が渡来したのは8～9世紀頃（奈良～平安時代）ということであり、菊の和歌は万葉集には無く、10世紀の古今和歌集ま

で待たなければならない。百人一首にも選ばれた「心あてに折らばや折らん 初霜のおきまどはせる白菊の花」（凡河内躬恒）は、菊花が世に広まったことを示している。

菊の園芸は室町、江戸時代と発展を遂げ、明治元年には菊が皇室の紋章に定められた。明治神宮の菊花壇は各地からの出典を展示したものであるが、新宿御苑では明治 37 年から自ら栽培を始め、昭和 4 年からは観菊会が御苑で行われるようになったという。千駄ヶ谷門から入り、日本庭園に設けられた菊花壇は、素晴らしい！の一言に尽きた。先ず、ピンクの花の大きな外円の中心に真白な花を浮き立たせた露地花壇が、ホー！と驚く顔の客を迎える。野菊が断崖の岩間から垂れ下がっている姿を模した「懸崖作り」の一団に圧倒され、花びらが花の中央を包み込んで咲く大菊の集団に眼を見張り、1 株から数百輪の花を半円形に整然と仕立てた「大作り」の前では、美しく且つ大きく迫ってくる迫力に、呆然自失と言っても過言でない感動に浸っていた。

抜けるような青空の下、明治神宮、新宿御苑という都会のオアシスの中で、陶淵明や凡河内躬恒の時代の菊花とは異なる、人手を掛けた素晴らしい菊花を愛でることが出来た幸せは、何物にも代え難いひとときであった。

東久留米に帰り、打ち上げを行った。

部会長 東海 俊孝 記



＜コントラクトブリッジ＞ コントラクトブリッジ活動報告とお誘い

6 月にキックオフをし、9 月は悪天候により中止となったが 12 月までに 6 回の開催をしました。現在のメンバーは初心者が河村さん、山岡さん、三浦さん、坂井さんの 4 人、経験者が松崎さん、東海さん、金子の 3 人です。最近、河村さんの知人で西東京稲門会の浦田さんも時々参加して下さいます。月 1 回 3 時間の活動です。内容は初心者用のテキストで勉強していますが初心者用とは言え、ブリッジそのものがわからない初心者には難しく「ブリッジとは」の説明と「ブリッジのプレイの基本」をテキストで繰り返し勉強し、実際にカードを配ってのプレイとその説明をしています。8 人集まるとより楽しくゲームができるので最低で 8 人～10 人のメンバーを集めたいと思います。初心者の方もまだ追いつけますし、経験者の方も脳トレーニングの為に再開しませんか。まだ部会として認定されていませんが厚意により活動日を東稲ニュースの部会活動一覧に掲載しました。少しでも興味のある方は見に来ていただければ幸いです。

ブリッジは知的スポーツとして昨年、中国で開催のアジア大会でも種目になり日本代表が参加しました。結果は男子団体が初めて銅メダルをとりました。中国、韓国、香港が上位でした。基本の活動日程、場所は下記になります。

活動日時：第3金曜日、15:50～18:50

場 所：東久留米生涯学習センター、集会学習室

金子 孝司 記

☆コントラクトブリッジ参加の河村さんより

山岡さんに勧められてコントラクトブリッジを始めました。最初は覚える事が多く続けられるかなと不安でした。会を重ねる毎に理解できるようになってきました。認知症予防にぴったりです。興味のある方の参加をお待ちしています。

河村 洋子 記

連絡先：金子孝司

携帯電話：090-2626-3506、e-mail: cgm.knk@gmail.com

<ラグビー観戦記>

2023年9月から大学ラグビー対抗戦がはじまり12月大学選手権、2024年正月準決勝、13日に決勝となるはずだったが、昨年の早稲田は正月を越すことができなかった。昨シーズン早稲田が負けた帝京、明治、京産の3校はいずれもフォワードが強く圧倒的なフィジカルを誇るチームである。負けた試合は単に勝ち負けではなく、試合内容が悪過ぎた。セットプレーのスクラムにおいて完璧に粉碎された。バックスがどれ程素晴らしくても、基本のボール争奪戦に負ければ試合にならない。しかも同じ様にスクラムを崩され何ら対応も出来ていないまま試合が終わる。早稲田ラグビーは緻密な戦略の元スピーディーな展開ラグビーで小よく大を制するラグビーだったが、其れだけで勝てる時代ではなくなった。早稲田が真に復活するには全体の、特にフォワードの大型化とフィジカルの強さを追求し、その様な選手を獲得して行く以外に道は無い様に思う。

長い時間が掛かるかも知れないが、監督を固定化し長期間に渡る地道な強化が望まれる。

小野 泰右 記



【今後の予定】

<ウォーキング & 山歩き部会>

ウォーキング & 山歩き部会の活動予定

2月27日（火）梅の花見：郷土の森博物館（府中）

東久留米駅集合 9:30 ☆時間変更の可能性あり

★実施詳細はeメールでお知らせします。参加実績のない方はeメールアドレスの登録がありませんので、下記宛にアドレスをご連絡下さい。（FAX or 携帯電話SMSでも対応します）

宛先：toshi-tokai@kyj.biglobe.ne.jp 携帯 080-1205-9494 Fax: 042-473-8566 東海俊孝

<グルメ部会>

グルメ部会の御案内

期 日：2月8日木曜日

会食費：4000 円

場 所：横浜 中華街 「品珍閣」と横浜水上観光

「品珍閣」は中華街の隠れた B 級グルメの名店です。オーダー式 151 品目食べ放題飲み放題で、特にお店の名物はカニ肉入りフカヒレヒスイとろみスープ、ホタテの醤油炒め、カニ爪の揚げ物、チリアワビの醤油煮は必食です。

行程

9 時 30 分：東久留米駅改札口前 必着集合

券売機でオトクなきっぷ「西武横浜ベイサイドきっぷ」1800 円をお買い求めください。

9 時 39 分：乗車 9 時 43 分ひばりが丘発急行池袋行きに乗り換え、石神井公園で前の 9 時 48 分発元町中華街行きに乗り換えます。

10 時 52 分：横浜着 東口よりそごうペイクォーターで水上バスに乗ります。水上バスはピア赤レンガ倉庫まで海上横浜観光 800 円。赤レンガ倉庫から日本大通り駅まで横浜散策約 20 分。日本大通り駅から次の駅 元町中華街駅

13 時 00 分：「品珍閣」にて 15 時まで会食致します。帰りは元町中華街駅からひばりが丘駅まで直行し二次会はひばりが丘で予定。

申込みの〆切は1月31日。お店の都合により先着 15 名とさせていただきます、申し訳ございません

連絡先： 吉田清郎 042-424-8090 メール hibari_y@ybb.ne.jp

大矢真弘 042-475-8532 メール oyamasahiro1130@gmail.com

宜しく願い申し上げます。

吉田 清郎 記

<映画鑑賞会 第71回> 2024年2月22日(木曜) 14時～ 誠美教育文化会館

「シェルブールの雨傘」 Les Parapluies de Cherbourg (1964 年 仏 西独 91 分)

監 督 ジャック・ドゥミ 音 楽 ミシェル・ルグラン

出 演 カトリーヌ・ドヌーヴ…ジュヌヴィエーブ マルク・ミシェル…
ローラン・カサール

二ノノ・カステルヌオーヴォ…ギイ・フーシエ

巨匠ジャック・ドゥミ監督、仏映画界の至宝カトリーヌ・ドヌーヴ、数々の映画音楽賞に輝くミッシェル・ルグラン。三つの才能が映画史に残る傑作ミュージカル映画に結実。雨に濡れたフランス西部の港町シェルブールを舞台に悲恋を描いた本作は第17回カンヌ国際映画祭(1964)グランプリ受賞の映画史に残るミュージカル傑作。

港町シェルブールで、美しい恋を育む二人の若者、自動車修理工のギイに徴兵令状が届いたのだ。泣きぬれるジュヌヴィエーブだったが、自身の体の中にギイとの愛の結晶が宿っていることに気付く。そんな折、傘店の窮地を救ってくれた宝石商カサールがジュヌヴィエーブの妊娠も意に介さず求婚を申し出る。二人の間で揺れるジュヌヴィエーブだったが… 哀し過ぎる再会のラストシーン。戦争で引き裂かれた恋人たちが別々の人生を歩む物語。

映画鑑賞会 記



◎東久留米稲門会創立 30 周年記念コンサートのご案内

既に東稲ニュース№131（9 月 10 日刊行）でその進捗状況をご報告しましたが、具体的にその内容が少しずつ固まってきましたのでご案内いたします。下記の通りです。

（現在演奏曲目が未確定ですが、暫定版のチラシも同封いたしますのでご参照ください）

早稲田大学 東久留米稲門会創立 30 周年記念
「杜の西北」コンサート

会場：まろにえホール（東久留米市生涯学習センター）

2024 年 6 月 29 日(土) 13:30 開場 14:00 開演

第 1 部 早稲田大学合唱団 演奏

第 2 部 早稲田大学交響楽団 演奏

総司会：大橋 忠弘（稲門音楽連盟副会長）

チケット：全席 1,000 円（自由席）

※東久留米稲門会会員には、招待チケット 2 枚配付

【コンサート名『杜の西北コンサート』の命名由来】

30 周年記念のコンサート名を『杜の西北』コンサートとしたのは、東久留米稲門会草創期に、『杜の西北』という格調高い会報誌が 15 年間にわたり毎年刊行されていたことにちなんでの命名です。この会報『杜の西北』は、当稲門会創立時の 1995 年 9 月に創刊され、2009 年 3 月刊行の第 15 号で残念ながら休刊となりましたが、その質の高い内容は特筆すべきものであり、草創期の先輩たちのご努力に敬意を表し、その素晴らしいタイトルをこのコンサートに生かすべく名づけさせていただきました。会報『杜の西北』の内容は、東久留米稲門会ホームページで見ることが出来るので、（ホームページ<<https://higashikurume-toumonkai.com/>>内「東稲ニュース」タブの下の方に格納されています）是非ご覧になってください。毎号地元になんだ興味深い内容となっています。

【会員には招待チケットを 2 枚お渡しします】

30 周年の記念行事を何にするかを討論した際、現在 130 名いる会員全員が参加でき、楽しめるというのを最優先に考えました。毎年 30 名以上の会員が練馬稲門会主催の早稲田大学交響楽団「ニューイヤーコンサート」を鑑賞に行っていることを踏まえ、あのオーケストラがわが街 東久留米にやってきましたら素敵だな！と、考えたところが出発点でした。普段はあまり部会活動に参加できない会員の方にも、ご家族と一緒に楽しんでいただけるよう企画しました。会員には 2 枚の招待チケットをお渡しいたします。5 月の東稲ニュースのポストマン配達時に皆様に配付予定です。奥様と、お子様と、あるいはお孫さんと、そしてご友人を誘って是非コンサートに足を運んでください。学生団体とはいえ演奏の質の高さは折り紙付きです。

＜万一ご都合がつかない場合は、どなたかご来場いただける方にお渡しいただければ幸いです。なお、

追加でチケットが必要な場合は1枚千円で販売いたします。>

【東久留米市への貢献】

当会の規約第2条にある「東久留米市の発展に寄与する」を具体化すべく、「杜の西北コンサート」に地元の中学・高校で音楽関係のクラブ活動を行っている生徒さんをご招待する予定です。当稲門会20周年の記念イベントで大門中学の吹奏楽部演奏会を行いました、そのレベルの高さに目を見張った記憶があります。今回は早稲田大学交響楽団、早稲田大学合唱団の演奏を、地元の中学や高校で合唱部・吹奏楽部等で活動している生徒さんに聞いてもらい、研鑽に役立ててもらうとともに、わが母校早稲田大学を目指すきっかけになってくれれば良いなと思っています。

【チケットの販売にご協力を】

現在の会員数は約130名。各2枚の招待チケットをお渡ししても、まろにえホールの座席数が500席なので、市内中学高校の音楽関係クラブ生の招待数を勘案しても、あと150~200席分ほどのチケットを販売しなければなりません。30周年イベント用積立金と繰越金があるとはいえ、チケットを少しでも多く販売する努力が必要です。

是非ご家族やご友人で、混声合唱やオーケストラに興味をお持ちの方がいらっしゃったら、チケットを販売してくださるようお願いいたします。(割引販売はいたしません。) チケットはチラシと共に3月中には制作して販売できるよう準備を進めます。

なお、チケットは一般の方が購入しやすいよう、成美教育文化会館、市民プラザ(市役所1F)、西部地域センター、東部地域センター、南部地域センター、生涯学習センター内バオバブ喫茶等で販売予定です。

30周年記念コンサート実行委員会 小山田 朋樹 記

◎清瀬稲門会主催の「オペラを楽しむ会」のご案内

開催日：2月11日(日) 13時開場・13時30分開演。

会 場：「アミュー・ホール」清瀬駅北口徒歩1分(生涯学習センター7階)

演 目：プッチーニ 蝶々夫人(ヴェローナ歌劇場 2004年)です。

入場無料ですが資料代として200円のカンパをお願い致します。

山口 謙二 記

◎Table For Children

2023年12月2日、滝山子ども食堂に10,000円送金いたしました。皆様のご協力に感謝いたします。今後よろしくお願いいたします。

河村 洋子 記

◎Dominant (ドミナント) カジュアルコンサート Vol. 1のお知らせ

(注)「Dominant」は視覚障がいのある音楽家の団体です。

小生が主宰するアマチュア声楽家のグループ「マッシモの会」は東久留米市で「ふれあいコンサート」の活動をいたしておりますが、この度下記コンサートに賛助出演をすることとなりました。

- ・ 日 時 : 2024年2月18日(日) 開演13時 (開場12時)
- ・ 場 所 : 成美教育文化会館グリーンホール (東久留米駅 北口徒歩5分)
- ・ 出演者 : 声楽(男女7名)、バイオリン、ホルン、バレー、ピアノ伴奏
- ・ 演奏曲 : 日本歌曲、日・伊・仏オペラアリア、米ミュージカル等の名曲の数々
- ・ 入場料 : 前売1,000円(当日券1,500円) U25各500円
- ・ 申込み・問合せ : (Tel) 090-4719-3672 (担当: 高野)
- (Mail) dominant.massimo@gmail.com

高野 正人 記

<会員リレーエッセイ> 噴水広場

東久留米は第二の故郷

S56 第二文卒 酒井 正敬

最近稲門会へ入会された方の中には、私の名札（S56 文）を見て、怪訝な顔をされる方がいます。

そのはずです。私が二文に学士入学したのは 40 歳で、卒業したのは昭和 56 年 3 月の 42 歳の時でした。20 歳も若い名札を付けていれば妙に思うのは当然です。

私は「東久留米稲門会」発足の日に入会し、85 歳の今日まで元気に会の行事に参加できることを感謝しています。しかも令和 6 年は創立 30 周年を迎える年であり、大いなる喜びです

東久留米市氷川台に越して長女が生まれました。もう、51 年も経過したのか、と自分でも驚いています。半世紀も住んだ東久留米は私にとっては第二の故郷です。

私は昭和 13 年に東京の御徒町に生まれました。小中高と東京の学校を卒業していたので、父は自分の出身校早稲田へ進学するものと考えていたようです。ところが母が天理教の信者だったので、その影響を受け、私は奈良県の天理大学文学部宗教学科へ進学しました。昭和 32 年 4 月です。大学では比較宗教学を専攻し、仏教、キリスト教、イスラム教、天理教、その他の宗教を学びました。その中でイスラム教の教祖であるマホメットに強い関心を抱き、卒業論文は「イスラムの来世観」とし、400 字詰め原稿用紙 150 枚を書きました。

天理大学卒業後はサラリーマンになりました。しかし、経済学のケの字も解らないので、産業能率短期大学（学長はテーラーの「科学的管理法」の翻訳者として著名な上野陽一）へ入学しました。この大学はユニークで、夜間部のみの 3 年制の短期大学でした。従って学生も会社派遣のサラリーマンが多かったように記憶しています。

その大学の掲示板に「経営コンサルタント見習い募集」という求人広告が出たのです。私はこれに飛びつきました。将来は腕を磨いて経営コンサルタントとして自立したいと考えていたので、この求人は私にとって天声でした。



私は昭和 38 年に会社業務総合研究所へ入所しました。所長の田中要人（ようじん）先生（1900～2000）は名古屋高商（現名古屋大学）卒業で、日本の経営コンサルタント（能率技師）の草分けの一人と言われる高名な方でした。

昭和 53 年に書いた「再就職に成功する本」がヒットし、かなりの収入増となりました。そこで（株）三和経営研究所を設立し、独立しました。

時間が自由となり、早稲田大学第二文学部に学士入学をしました。2 年後に早大を卒業し、父との約束を果たすことが出来ました。

人事コンサルタント業も順調に行き、現在も元気に顧問先を回ったり、執筆や講演活動ができることは実に幸いです。

編集後記

「ピヨピヨ」「カッコー」

横断歩道を渡る際に聞こえてくる「ピヨピヨ」「カッコー」という音は、視覚障害者などが安全に横断歩道を渡るために設置された音響式信号機の音です。そして、信号が青となっていることを知らせるだけでなく、音がする方向に向かえば横断歩道の向こう側にたどり着くことを伝えています。

日本視覚障害者団体連合によると、南北方向に渡る信号機が「カッコー」、東西方向が「ピヨピヨ」の地域と、その逆に行っている地域があるため、全国的に統一されることが期待されているようだ。



「辛党」とは「辛いものが好きな人」ではない

激辛のもの、塩辛いものが好きな人を「辛党」とは言わない。「辛党」とはすばり酒好きのこと。常識的にいえば、未成年である子どもには「辛党」は存在しない。

また、酒好きな人は「左党」とも呼ばれるが、これは大工や石工などが左手にノミを持つことに由来するという。「ノミ手」と「飲み手」をかけたわけだそうだ。

稲門会員は、いろいろな人生経験・教養の持ち主が多い。東稲ニュースを通してお互いが持っている教養を共有したいと考えています。会員の皆様の積極的な参画を期待しております。是非、積極的な投稿をお願いします。

有賀 千歳 記

編集委員：有賀 千歳（今回の担当）、片平 るみ



東久留米稲門会HPへのアクセスは、
左記QRコードからできます。